

2025年度 ニチキッズつしま新野保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月13日（火）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月12日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念のもと、全職員で一人ひとりの子どもの育ちを捉え、あそびの工夫により子どもが楽しむ保育実践ができた。しかし、子ども主体となったあそびの展開等保育士の関わりに課題が残る。
子どもの発達援助	一人ひとりの発達や日々の様子を把握しながら、職員間で情報共有や関わり方について話し合いを行った。 こどもの姿に合わせた適切な配慮を行い安心・安全に過ごすことへの意識改善をしていかなければならない。共通認識のもと、適切な援助と丁寧な関わりを通して子どもに寄り添った保育を継続していく。
保護者に対する支援	送迎時やアプリを活用し子どもの様子を把握と、情報共有を図った。また、日々のコミュニケーションを大切に、相談しやすい雰囲気づくりに努め、園での様子を実際に見る・参加して頂く機会を設け保護者と子どもの育ちをともに支え・見守りながら共に成長を喜び合える関係を大切にしていきたい。
保育を支える組織的基盤	ミーティングの定着を図り全職員で考えや思いを伝え合い、都度、現状と課題について検討し対応することに努めた。園全体の協力体制は整ってきつつあるが、連携方法や業務負担等課題である。 現状の保育に満足せず、社内・外研修受講を通してさらなる保育の質の向上、職員一人ひとりの資質向上に努めていくことが必要である。

総評
一人ひとりの子どもが、表情や態度、言葉で自己発揮することが十分にでき、保育者もその姿をしっかり受け止めながら関わることを丁寧に行った。しかし、子ども主体のあそびや継続した活動の計画と実践が課題と言える。 また、子どもの様子を安心・安全に過ごす為に、保育環境の見直しと保育者の意識改善が必須であり全職員が一丸となってチーム保育を確立し子どもたちの育ちを支え、日々充実した保育実施に取り組みたい。 季節を通して、子どもたちは様々なあそびや食育活動を楽しみ・喜びを感じ、保護者の方には行事への参加や日々のコミュニケーション等を通して子どもたちの育ちを共に見守り、支える関係を着実に築いていくことができていた。 子ども・保護者の方と共に、少人数であるからこそ保育者も日々学びと成長をする貴重な時を過ごすことができていた。